

## 地域の労働組合運動を広げよう、強めよう!!



5/12地域運動とローカルユニオンの役割を考える学習会(東京地評・CU東京・新宿一般労働組合による共催)

全労連小田川義和事務局長を講師に迎えての「全労連での地域の組織と運動の発展をめざして」の学習会が5月12日東京労働会館会議室で開催されました。参加者は15組織28人でした。

冒頭、伊藤潤一東京地評議長は「地域ユニオン組織を点から面にする運動が重要、可能性はある」と挨拶、地域労働運動の重要性を強調。

### 【講演の要旨】

#### 労働組合の現状

安倍政権の悪政暴走が続いている。雇用の実態は非正規労働者が4割(約2000万人)。労働組合の組織率は17.8%、全労連の組合はその中の1割です。

国民的運動での労働組合の果たす役割は重要です。全労連の結成意義もここにあります。

組合員の減少は①雇用状況の変化。②第2次産業から、第3次産業への急激な変化。③公務公共業務の民営化、民間化。④成果主義の強まり・労働者間の分断。⑤請負・個人事業主の増加と雇用者の減少。⑥生産拠点の海外移転や事業所の減少。公務リストラによる組合員減少や中小零細企業での労働組合消滅などが要因としてあげられます。全労連は98年150万人→12年

には110万人となっている。

#### 労働者の期待に応えられる運動を

組合員数減少傾向に歯止めを打つ組織拡大運動は、単産と地方・地域の双方向の取り組み強化が必要になっています。

「一人ぼっちの労働者」に寄り添う労働組合・ローカルユニオン＝産業、事業所、雇用形態を超えた未組織労働者の「受け皿」が結成しつつある。現在、43地方組織に171のローカルユニオン(11000人)1ローカルユニオンの平均組合員数63人である。リーマンショック(2008年)後、労働者の連帯によって派遣村が作られ、あらためて労働組合の存在意義が知られた。非正規労働者から期待が高まった。いまはブラック企業に働く労働者からの期待も広がっている。

#### 地域組織での役割の再確認と労働相談

労働者の要求実現、悩み解決、未組織の組織化を目指し、全労連運動の維持、発展のためにと地域運動と組織課題克服が急務となっています。現状は、全労連結成時から組織を支えきた役員がリタイア、運動の後継者が少ない。単産地方組織の結集が後退している。「活動休止」の組織も生まれている。新自由主義は国民生活を破壊、それにより地域課題も増加している。

地域労連は①産別の労働組合などの相互交流、たたかひの支援、共闘を組織していく。②地域での労働者要求に基づく運動の取り組み、組織的前進をめざす。③住民要求に基づく民主団体、市民団体との共同した対自治体要求(例・公契約条例)などの運動に労働者の参加を。

次頁に続く→

④全労連が提起する全国的な運動の地域での具体化をなど、自らの要求課題と合わせてすすめていく。

### 組織拡大、二重加盟について

- 1、現状の460の地方組織を可能な限り維持・発展させていく。
- 2、地域労連に結集する単産組織相互の交流、協同を強め、運動を活性化させいく。
- 3、地域労連に対応する地方自治体などにむけた労働者、国民的要求課題。

など三つの大きな柱を基本に、未組織の組織化をめざし、産別の基礎単位の職場の労働組合、単産、地域労連が、労働組合運動の再生と腹を括った取り組みがどうしても必要。財政支援や、労働相談をOBや役員だけに頼らず、次の担い手を意識的に育てていく。後継者づくりも行う必要があります。

### 双方にとってメリット

一点共闘は前進しているが、それが組織拡大に結実していない現実もある。要求闘争の前進を組織拡大にも反映させる取り組みが必要です。組織拡大それ自体を目的とした未組織労働者への接近策について、組織ごとに大いに創意工夫をすすめていくこと。

企業内主義、産別主義は根強い。そのためにも労働者初級教育制度整備し「地域運動」再生を取り組んでいく。日常的に、つながりを強めるために、旗びらきや、春闘、争議支援行動、交流企画、学習会などを意識的に積み上げる。

ローカルユニオンと産別組織の二重加盟は、組合員個人の基本的権利である。二重加盟は双方にメリットがあります。

産業での特異な雇用慣行や労務管理のノウハウなど産別が提供、地域組織・ローカルユニオンは職場での組織拡大をサポート。産別結集を促し、ローカルユニオンには人的支援となる。

## おわりに

組織論議も重要であると同時に、運動、要求、共闘などたたかひの在り方としての議論が決定的となる。とまとめました。

意見・質問、経験の発言の後、新宿一般労組の保科さんより「私自身も、地域労働組合があったから、労働組合運動を続けられた。労働者が労働三権を行使出来るようにこれからも続ける。多くの労働組合、民主団体とともに、地域労働運動を産別、地域が一体となるようすすめよう!!」の挨拶で閉会となる。

(文責 関根)



第85回中央メーデー

## 支部の動き



### あだち支部

石川裁判の対策会議を5/8開催。次回公判が5/29行われます。傍聴参加をお願いします。東京地裁1階、11時45分、集合です。

### かつしか支部

前回報告済の相談事案の「退職金請求、時間外手当の分請求や有給休暇買い取り」については退職金相当分と時間外手当分を含めて、金銭解決となった。先週、解決金が当事者へ正式に支払われました。労働者は組合の交渉力に感謝していました。

### 渋谷支部

組合員交流をすすめつつ、協力組合員の加入を取り組んだ。5月、新組合員は12人となる。